

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		看護小規模多機能たんぽぽ				公表日	2026年 3月 30日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	<input type="radio"/>		指定基準は満たしている。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	<input type="radio"/>		人員基準は満たしている。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	<input type="radio"/>		バリアフリーに配慮した設備となっている。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	<input type="radio"/>		清潔な環境を提供できるよう配慮している。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	<input type="radio"/>		児童が必要に応じ、個室を使用できる環境を整えている。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	<input type="radio"/>		より良い支援を目指していけるよう、毎月の部会内で業務改善に向けたミーティングを実施している。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		保護者アンケート調査の結果を職員で共有して業務改善につなげている。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		毎月の部会内で業務改善に向けたミーティングを実施している。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		<input type="radio"/>	第三者評価は行っていない。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	<input type="radio"/>		研修会に参加するなどし、他事業所の取り組みを学ぶ機会を設けている。又、参加できなかった職員へは伝達講習を実施している。		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	<input type="radio"/>		実施している。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	<input type="radio"/>		ご家族へニーズの確認を行いながら個別支援計画を作成している。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	<input type="radio"/>		必要な支援が実施できるよう、職員間で情報を共有しながら支援内容を検討して作成している。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>		計画を確認しながら実施している。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。		<input type="radio"/>	対象児童が重度心身障がい児のため、標準化されたツールは使用していない。	事業所や職員自身も学習を続け、必要な情報などを身に付けていきたい。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	<input type="radio"/>		プログラムを作成し支援内容を設定している。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	<input type="radio"/>		チームで話し合いを行い実施している。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	<input type="radio"/>		対象児童が重度心身障がい児のため、支援方法など検討し、負担のかからないようなプログラム作りを行っている。		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	<input type="radio"/>		共生型デイサービスの特徴を活かしながら、高齢者との関わりが持てるようにしている。		

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		朝のミーティング時や介助前に確認し実施している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		送迎時間が利用者によって違う為、朝のミーティングが行えていないが、業務日誌や経過記録等を使い情報を共有している。必要に応じてカンファレンスも実施している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		支援記録は利用者ごとに毎回記載しており、ミーティングや部会時に検証・改善に繋げている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		定期的に計画を確認し、変更の必要性を検討している。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	○		対象児童が重度心身障がい児のため、支援方法など検討しながらプログラムを提供し交流や活動を実施している。	
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		対象児童が重度心身障がい児のため、意思表示等は困難ではあるが表情を確認したり、ご家族からの情報を基に支援している。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		児童の支援に関わる職員・看護師が参加している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		必要時に支援学校や主治医、障害支援センターとの連絡体制について、ケース会議を開催するなど連携を行っている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		学校の送迎時に担任の先生と情報交換を行うようにしている。又、児童の状態に応じて適宜支援方法を共有している。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		障害支援センターと情報共有を行いながら、他事業所等の様子など伺うことが出来ている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		現在、利用中の児童が障害福祉サービス事業所へ移行するには当面先の為、連携をするまでの経過はないが必要時は連携していく。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		医療ケアに対する支援について、病院関係者とのケース会議や医療機器の扱いについて学習会への参加など行っている。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		他事業所との交流は行えていないが、共生型デイサービスという特性から高齢者との関わりは実施できている。関わりを持てることを検討したい。	地域の活動や外出行事を企画するなどし、事業所の外へ出たり交流できる機会を作りたい。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		積極的な参加は行えていない。必要に応じて障害支援センターとの情報共有を行っている。	研修会等に参加しながら、学習の機会を持ちたい。
保護者への説明等	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		送迎の度にご家族と意見交換を行っている。ご家族とお会いできない時でも、連絡ノートを利用しながら意見交換を行っている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		対象児童が重度心身障がい児であるため、実施していない。	事業所や職員自身も学習を続け、必要な情報などを身に付けていきたい。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時以外にも、運営や支援内容に変更が生じた際は、必要に応じて説明を行い対応している。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		児童から意思の確認が難しいため、ご家族よりサービスへの意向を伺いサービスを提供できるよう努めている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		計画作成時は、ご家族へ説明を行い同意を得ている。	
保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		関係機関との連携会議などに参加し、管理者や看護師、介護職員とご家族での相談・対応を行っている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		現在、2人の児童を受け入れているが、事業所を通して利用者の保護者同士の関わりは持てていない状況。支援学校を通して関係は持っており、情報を共有されている。	事業所の活動への参加など呼びかけし、交流の機会を設けていきたい。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		苦情については寄せられていないが、送迎時など対応について意見などないか伺うようにしている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		毎月通信を作成したんばぽでの活動内容を知らせられるよう発信している。HPやSNSの活用は行えていない。	

非常時等の対応	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報の取り扱いについて、スタッフには個人情報遵守の誓約書を記入してもらい注意を払っている。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		送迎時にご家族との情報交換や連絡ノートを使用し意見交換をしている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○	事業所の運営推進会議の開催時に取り組み状況を報告しているが、事業所への訪問などの活動は行えていないため検討していきたい。	地域活動へも参加し、交流の機会を設けていきたい。
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		マニュアルを策定し、職員間では学習・周知は実施している。保護者まで浸透しきれていない状況の為、工夫が必要と考えている。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		避難訓練は定期的に行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		送迎時にご家族や支援学校のスタッフより体調の確認を行うと共に、ご利用時に体調変化があれば身体状況を確認し、帰宅時にご家族へ状況を報告している。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		契約の時点で保護者からの聞き取りを行っている。他、緊急時の対応方法についても確認を行っている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		マニュアルを策定し、職員間では学習・周知は実施している。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		緊急時等、ご家族との連絡方法などは確認できている。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ミーティングの際、チームで話し合いを行っている。	
53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		事業所内での研修や外部講師を呼んでの学習を実施している。今後も充実させていきたい。		
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		身体拘束適正化検討委員会を部会内において開催し、要件について検討し適宜評価し、保護者へ了解をもらい個別支援計画に記載している。		